

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | オープニングタイトル |
| | <p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。 そして今回の「お元気アナウンサー」は、この方です！</p> <p>田名部： みなさんこんにちは。お元気アナウンサーを務めます田名部 真理と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>田村： よろしくお願いします。</p> <p>田名部： 実は私、関西大学出身で私の体の一部は確実に関大前のチェーン店の中華料理店で出来上がってます。</p> <p>田村： 散々、食べたんですね。じゃあ、吹田ともゆかりがあるということですね。</p> <p>田名部： そうなんですよ。当時から付き合っていた劇団員だった主人も関大前に下宿していて、結構通ってたんですね。彼の下宿で吹田ケーブルテレビの吉田ジョージさん見てました。</p> <p>田村： 僕も分からへんやつ。マニアックすぎる。 そんなタイミングでファスティングしてきたんですね。</p> <p>田名部： そうなんです。もうね、お肌ツルツルになるぞ！</p> <p>田村： 2日目？大丈夫ですか？</p> <p>田名部： 若干、後悔してます、今。 なんでこんな初の舞台の時に、そんなことを仕込んでしまったんやろって。 これも吹田のみなさんを置き去りにしてしまう。</p> |

田村：

いやいや、大丈夫です。ファスティングがんばってください。
空腹と戦いながら、収録お願いします。

田名部：

よろしくお願いいたします。

田村：

それでは特集行きましょう

田名部：

今回の特集は「障がいのこと、考えよう～ごぞんじですか？障がい者週間」です。

| TIME | 内容 |
|------|--|
| | <p><u>ナレーション</u></p> <p>12月3日から9日は障がい者週間です。 障がい者週間とは、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める事を目的として制定されました。 しかし、一口に障がいと言っても様々な特性があります。 そこで、この機会に障がいについて一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>タイトル：「障がいのこと、考えよう。」～ごぞんじですか？障がい者週間～</p> <p><u>ナレーション</u></p> <p>現在、吹田市における手帳所持者は20881人。 人口比率では20人に1人が何らかの手帳を所持している事になります。 これだけ身近な存在の障がい者ですが、その障がいの中身まで理解している方は少ないのではないのでしょうか？ そこで今回は、障がいのある2人の方に密着し、普段の生活で生じる問題点や、コロナ禍での新生活様式に関するご意見などをお聞きしました。 今回、協力いただいたのは吹田市聴言障害者協会の大江卓司さん。</p> <p><u>大江さん</u></p> <p>私が聞こえなくなったのは1歳未満の時です。 麻疹が原因らしいと聞いています。1歳未満で聞こえなくなりました。</p> <p><u>ナレーション</u></p> <p>大江さんは大手企業を定年退職後、現在、聴覚障害者センターでボランティアをされています。 ここ北摂聴覚障害者センター・ほくほくは、手話でおしゃべりができ、老後の健康不安などが相談できる場所として2015年にオープンした聴覚障がい者専門の作業所です。</p> <p><u>女性</u></p> <p>私たち皆んな耳が聞こえませんが、一般社会ではなかなかコミュニケーションが取れませんが、ここでは楽しく手話で話ができますし、色々な情報交換などもできて、とても嬉しいです。</p> <p><u>男性</u></p> <p>すごい楽しいと思います。だからずっと続けています。沢山のの人に会えて、おしゃべりができるのでとても嬉しいです。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|--|
| | <p><u>ナレーション</u> 聴覚障がい者の方は、今回のコロナ禍で手話の重要性を再認識させられたそうです。その原因はマスク。普段、相手の口元を見て喋っている内容を検討していますが、マスクにより口元が全く見えなくなったのでした。</p> <p><u>大江さん</u> 手話というのは、聞こえる人が喋っているのと同じく、同時に手話で話せるので、聞こえる人と同じタイミングでわかるというのがいいと思います。</p> <p><u>ナレーション</u> 手話は聴覚障がい者にとって最大のコミュニケーション方法。だからこそ手話を健聴者にも知ってもらいたいと大江さん。そこには、こんな思いがありました。</p> <p><u>大江さん</u> 今病院に行く場合は事前に手話通訳を依頼して、一緒に病院に行く。手話通訳の予約をして、一緒に病院に行くという方法がほとんどです。今日、すぐ病院に行かなくてはならないという緊急の場合には通訳の依頼が間に合わないことがあるんです。また、土曜日や日曜日、夜間など市役所に手話通訳者がいない場合もありますので、病院内に手話通訳者がいたら、私たちも安心して医療を受けることができます。いつでもどこでも手話通訳をと願っています。それを実現したいと思っています。</p> <p><u>ナレーション</u> 続いてお話をお聞きしたのは、吹田市視覚障害者福祉会の大槻剛康さん。</p> <p><u>大槻さん</u> 私の場合は中途障がいです。幼い頃は何も感じず、普通に暮らしてたわけです。視力も1.2とかあって。</p> <p><u>ナレーション</u> 大学では応援団に所属するほど活発だった大槻さん。しかし網膜色素変性症を30代の頃発症。徐々に視力が失われ現在は強い光のみ感じられる程度だそうです。</p> <p><u>大槻さん</u> 僕らはね、少しずつ悪くなる緩やかな進行性でしょう。視覚によって普通の人にはわかるじゃないですか。僕らはだんだん悪くなって見えなくなるんですけど、やっぱり脳とかが距離感とかを覚えてるんですよ。けど、急激に見えなくなった人がどうなるかということ、鼻で飲みそうになったり、顎で飲みそうになったりするんです。感覚がわからないから。</p> |

ナレーション

障がいには人によって様々。だからこそ細やかなケアが必要なんです。
大槻さんは現在、パソコンの音声読み上げソフトを使って自宅でお仕事を
されています。

大槻さん

本当に便利なんです。天気予報もね…、（パソコンが天気を読み上げる）

ナレーション

しかし、このソフトは文字をそのまま読み上げるため、途中で写真や絵などが
入るとうまく読み上げてくれません。

スタッフ

一番いいのは、ほとんどのホームページがきちんと音声で聞けることですよ。

大槻さん

そのためには、各部署が音声読み上げソフトを持ってインストールして、
こうやったら視覚障がい者が聞けないとか、じゃあ、レイアウトを変えようか
とかなるじゃないですか。そういうことをしている所はほとんどないですね。

ナレーション

そう、パソコンのホームページでもユニバーサルデザインは必要なんです。
そこで大槻さんが考えていることは？

大槻さん

障がい者というのは今、吹田市で2万人強いるわけなんですよ。
我々、身体障がい者は14100人弱いるんですね。この人たちを私も含めて
戦力化しないとダメだと思うんですよ。障がい者の相談支援センターとか
いろんな体制ができてるんです。それは良いんですけど、じゃあ、専門の
相談員さんは盲学校に行ったことはありますか？まずないですね。
そういう方々が一生懸命やっておられるんですけど、新しく障がいになった人
に対して、どこまで有益な情報を確信を持って言えるかですね。
そこで我々が補助として、一番大事なのはニーズは何かと。
支援してほしいニーズと自分がやりたいニーズ。これをボランティアなり、
私がピアサポーターをやるとしたら自戒を込めて心掛けないかんという所です。
だから皆んな個別なんですよ。

| TIME | 内容 |
|------|--|
| | <p><u>ナレーション</u></p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>マスクの装着やソーシャルディスタンスなど、現在、提唱されている新生活様式は障がい者にとって新たな問題を浮かび上がらせています。</p> <p>日中活動場所の利用制限。ボランティアの休止。</p> <p>しかし、そんな時だからこそ、お互いの理解を深める社会が求められています。</p> <p>困難な時代だからこそ、お互い譲り合い、認め合う共生社会を作るように、一緒に考えていきましょう。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | <p>田村： なるほど。大変な問題が、僕らの知らない問題があるんですね。</p> <p>田名部： 言ってくださったことで気付かされたことたくさんありますよね。</p> <p>田村： これは気付きようがないですからね。</p> <p>田名部： 考えたら出来そうなことありそうなんですけど、大槻さんも「戦力化していきたい」というふうにお話しされていましたし。</p> <p>田村： ああいう言葉が頼もしいですし、その方がいいですし。</p> <p>田名部： 一緒にコラボしたら出来ることあるだろうなって、ちょっと想像力も広がってきました。</p> <p>田村： 街で「障がい持ってる方、困ってるんちゃうかな？」と思っても、声掛けるの怖いじゃないですか。 「上手くコミュニケーション取れへんかったらどうしよう」 「役に立てへんかったらどうしよう」 失敗してもいいし、それも経験やから、コミュニケーション取って行って、少しでもお互いが暮らしやすい世の中を、というふうに思いますけどね。</p> <p>田名部： VTRの中でも流れていましたけど、市内には、 内本町障がい者相談支援センター、片山・岸部障がい者相談支援センター、 豊津・江坂・南吹田障がい者相談支援センター、 千里山・佐井寺障がい者相談支援センター、亥の子谷障がい者相談支援センター、 そして千里ニュータウン障がい者相談支援センターと、6か所の障がい者相談支援センターがあり、地域で暮らしやすい障がいをお持ちの方や そのご家族などに寄り添い、相談支援を行っています。 どなたでもご利用いただける場所となっていますので、お気軽にご利用ください。 詳しくはご覧の各センター、または障がい福祉室 電話 06-6384-1348 までお問い合わせください。 以上、特集でした。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | <p><ワンポイント手話> 工事中の道があります</p> |
| | <p>田村： 続いては「吹田エール飯」 (フライングタイトル)</p> <p>田名部： このコーナーでは、吹田エール飯で掲載されているお店をエリアごとに紹介していきます。今回は「豊津・江坂・南吹田エリア」ということで、お店は田村さんが抽選で選ばれたんですよ。</p> <p>田村： そうです。今回も3店舗選ばせてもらいました。 どんなお店なんでしょう。それではVTR行ってみよう！</p> |

田村：

さあ、さっそく引いていきます。それでは、こちら…、うどん。

ナレーション：

最初は、北大阪急行電鉄江坂駅から歩いてすぐの「手打うどん 紅葉庵」さん。
名店の雰囲気漂う暖簾をくぐると、こんな見つけ。

渡辺さん

寛いでもらいながら食事をしていただけるというイメージですかね。

ナレーション：

お店の中は子供用の椅子もあり、広さも充分。家族連れの田村ちゃんには有難いな。

渡辺さん

赤ちゃんからお年寄り、お爺ちゃんお婆ちゃんまでみんなに喜んでいただきたいと思ってます。

ナレーション：

そんなおもてなしの心を忘れへんご主人。大阪道頓堀の某有名店で修業。
おいしいうどんへのこだわりは徹底してるんや。

渡辺さん

手打ちですね。全て手作業でやってますので、毎日の気温ですとか湿度の違いっていうのは手の感覚で覚えてます。

ナレーション：

さらに、おだしもこだわりが…。

渡辺さん

香り重視の昆布と旨味をたくさん出してくれる昆布を合わせてるんです。
あとカツオブシはサバとウルメを使ってます。

ナレーション：

そんな紅葉庵さんのイチオシメニューは、お店人気NO.1のこちら。
ジューシーなお揚げに乗った「きつねうどん」。

渡辺さん

揚げですね。だいたい3～4時間油抜きをして味が入りやすくなって、よりジューシーなきつねに仕上がるんです。その揚げの甘さと出汁の風味が絡み合って美味しいですよ。寒くなってきましたので、こだわりのきつねうどん、ぜひご家庭でもどうぞ。

ナレーション:

「紅葉庵(もみじあん)」さんは、北大阪急行電鉄江坂駅から徒歩6分。
テイクアウトは午前11時半から受け付けています。

ナレーション:

続いては、こちらも北大阪急行電鉄江坂駅から歩いてすぐの「串カツ 作々」さん。
串カツをメインにしたお持ち帰りとチョイ飲みスタンドのお店なんや。
衣には、こだわりのパン粉などを使用して、他ではなかなか真似が出来へん串カツに
なってんねん。

久保さん

パン屋ラパンの姉妹店で自社で作った無添加の食パンをブレンドしまして
薄衣として付けて素材そのものを揚げてるようなサクサク食感になるのと
バター液におからパウダーを入れてるんですけど、お肉とか野菜から
ちょっと水分が出ますけど、それを吸ってくれるのでサクサク感が
いつまでも残るような串になっています。

ナレーション:

これは、何本でも食べれてビールもグビグビいけるわ～。
そんな「串カツ 作々」さんのイチオシテイクアウトがこちら。定番から変わりダネまで
12本の串カツが入った、その名も「プラチナ盛」。

久保さん

野菜、お肉、シーフード、チーズと満載に入ってます。
うちのイチオシはなんといっても「手作りつくね」です。うちのスタッフのさとちゃんが
毎週作ってくれるんですけど、私が盗み食いするぐらい、弾力があってジューシーな
美味しい商品です。野菜は「おくらベーコン」。ベーコンの塩気がおくらに付いて
一口で二度美味しいという一番人気の商品になっています。
パン粉まで手作りの「作々」。ぜひみなさん、テイクアウトお越しください。
よろしく願いいたします。

ナレーション:

「串カツ 作々」さんは、北大阪急行電鉄江坂駅から徒歩5分。
テイクアウトは、夕方5時から受け付けています。

ナレーション:

最後はJR南吹田駅から歩いてすぐの韓食 Café レストラン「ペゴッパ」さん。
看板にある店主の娘さんが描いた可愛いキャラクターが目印やで。

イ・スンジャさん

いらっしやいませ。

ナレーション:

お店では、店主のイさん手作りの韓国の家庭料理の数々が楽しめるんや。

イ・スンジャさん

母親が全部手料理で韓国料理を作る人で、母が伝授してくれたもので
コチュジャンから韓国料理のベースというベースは全部自家製となっています。

ナレーション:

そんな韓国の家庭の味とイさんの人柄を慕って韓国からの留学生達もお店を
手伝ってんねん。

店主

ちょっと休む場所として。ママのことを「オンマ」と言います。だから、みんな私のことを
「オンマ」って呼びます。

ナレーション:

オンマのおすすめの鉄板メニューは、韓国風海苔巻きに旨辛なチキンウイングス。
そして、韓国式の餃子が入った熱々のマンドゥチゲ。
このマンドゥチゲは、持ち帰りの容器でテイクアウトも可能なんやて。
テイクアウトに力を入れている「ペゴツパ」さん。イチオシのテイクアウトメニューは
このポッサムをお持ち帰りにした商品。キムチや青唐辛子などの付け合わせも付いた
「ポッサムセット」や。

店主

ブロックのバラ肉をいろんなものを入れて炊き蒸してるんですけど、
蒸し豚は口の中でとろけるようなものなんですけど、つけて食べるものを
合わせて食べてくださいというスタイル。ヘルシーでびっくりすると思います、
口に入った時に。テイクアウトでも美味しい「ペゴツパ」の料理、ぜひお試しください。

ナレーション:

「ペゴツパ」さんは、JR南吹田駅から徒歩3分。
テイクアウトは、午前11時から受け付けています。

| TIME | 内容 |
|------|--|
| | <p>田村： うん！旨そう！</p> <p>田名部： 美味しそう！どれもね。で、テイクアウトということですからね。</p> <p>田村： テイクアウトの特集ですから、テイクアウトすればいいだけのことなんですよ。</p> <p>田名部： なんですけど、本当にこの番組、無いんですね。</p> <p>田村： また無いの？ 交互でええやん。あると無いと。 うどん屋さん、お店の外観からこだわり感じますし、店主の方の喋り方が 圧がなくて、本当にみんなの幸せのことだけ考えてて、 もちろんみんな来てくれたら嬉しいけど、押しつけがましくなくて、お喋りが。 なんか温度感、空気感がすごく素敵でした。</p> <p>田名部： 優しいお味なんでしょうね。</p> <p>田村： 行ってみたくなるお店でしたね。 「作々」さんは、ママも盗み食いする「つくねの串揚げ」。なんなんそれ。 食べたいに決まってるやん</p> <p>田名部： そこでしか食べられないですよ。</p> <p>田村： そして、最後の韓国料理「ペゴッパ」さん。すべて自家製とのことですから、 自家製なので辛くてしっかり刺激もあるけど、まろやかやと思うんですよ。 食べてみたいとしか言いようがない。</p> <p>田名部： みなさんからの声にも期待していかないと。</p> <p>田村： ホンマや。蒸し豚、よこせよ～。蒸し豚なかったら働かんで！</p> |

田名部：

ちょっとまだまだ思いが増しそうなので、
次回の吹田エール飯は、「JR以南エリア」からお届けします。
以上、吹田エール飯のコーナーでした。

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | <p><田名部 ナレーション> ※事前収録</p> <p>トリキリ①</p> <p>市民の皆さまへお願いです。 依然として、市内で多くの新型コロナウイルス感染者が確認されています。 12月は人の集まる機会が増える時期です。 「静かに飲食」「マスク着用の徹底」をお願いします。</p> <p>また、</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 飲酒を伴う懇親会(2) 大人数や長時間に及ぶ飲食(3) マスクなしでの会話(4) 狭い空間での共同生活(5) 休憩室や喫煙所など居場所の切り替わり <p>この「5つの場面」では、感染リスクが高まると言われています。 特に注意、徹底をお願いします。</p> <p>今一度、一人ひとりのご協力をお願いします。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | <p>田村： 続いては、市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>田名部： 今回は11月の話題をお届けします。</p> |
| | <p><u>ナレーション</u></p> <p>11月8日、豊津公園で「江坂朝市」が開催されました。</p> <p>これは吹田で生産されたものを吹田で消費する「地産地消」の取り組みの推進と、市民の農業に対する理解を深めようと、開催しているものです。 この日は新米や大根、柿やみかんなどの旬の農産物の販売が行われました。</p> <p>江坂朝市は例年、5月を除く毎月第2日曜日に開催していましたが、今年新型コロナウイルスの影響で3月から9月までが中止となり、10月から再開されました。</p> <p>会場では買い物客が密にならないよう入場制限が行われたり、検温や買い物かごの消毒などの感染対策をしっかりと行いながら、地元産の農産物を販売していました。</p> <p>(買い物客インタビュー) 今日、お大根とそれからほうれん草かな。よく来てます。 もう5、6年前から。新鮮なことですね。</p> <p>(買い物客インタビュー) 今日で2回目で、先月初めて知りました。 大根とかにんじんとか一杯買いました。 小さい子どもがいるので、農薬もあんまり使ってない新鮮な採れたての野菜食べたかったんで、嬉しいです。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|--|
| | <p>ナレーション</p> <p>11月15日、健都レールサイド公園土の広場で「子どもサッカー教室」が開催されました。</p> <p>元サッカー日本代表の加地亮さんを講師に迎えておこなわれたこのサッカー教室は、「健康・医療・スポーツ」がテーマの図書館「健都ライブラリー」のオープニングイベントとして開催されたもので、市内の4歳、5歳児と、小学生30人あまりが参加しました。</p> <p>サッカー教室小学生の部では、ウォーミングアップのあと、フェイントで相手を抜く練習をおこない、加地さんが適宜アドバイスをしながらコツを教えていました。</p> <p>教室の後半では、チームに分かれてミニゲームを実施。子どもたちはゲームを楽しみながら、トップアスリートの技に触れていました。</p> <p>(参加者インタビュー)</p> <p>みんなで最初のところ競争したりするのが、何か負けたら悔しいけど、勝ったらめっちゃ楽しい。</p> <p>本人は加地選手の凄さを解ってないと思うんですけども、本当こういう機会で作らせて頂いて、すごくありがたかったです。</p> <p>ゲームとかやって楽しかったです。</p> <p>何かすごい楽しそうにやってたんでよかったなあとあって、これでまたサッカーが好きになってくれたらいいなあとあります。</p> <p>(加地さんインタビュー)</p> <p>みんなやっぱりもう上手いですし、最近の子は。非常に元気をもらえますよね。この吹田から、本当に多くのJリーガーが出てくれることを、そしてガンバ（大阪）もありますから、ガンバ大阪に一人でも多く入ってもらって、活躍できるようにしてもらえるように、頑張ってます。僕も見守ってます。</p> |

| TIME | 内容 |
|------|---|
| | <p>田村： 素晴らしい。</p> <p>田名部： プロの方の直々のコーチってテンション上がりますよね。</p> <p>田村： やっぱり全然違いますからね。教え方も上手いですからね、プロの方は。ああやって機会を作ってくれるっていうのは有難いですよね。朝市の方も出来てなかったのが再開できたということで、遠目ですけど平野さんの姿も見れましたから、安心しました。タイミングによってはくわいも出たりするんですか？</p> <p>田名部： そうなんです。 次回の江坂朝市が12月13日（日）に開催予定となっているんですが数量限定で「吹田くわい」が発売される予定となっていますので、おせち料理にぜひ。</p> <p>田村： そうですね、時期的にも。本当に旨いですからね。食べほしいわ、みんなに。このチャンスを逃さずに「吹田くわい」買って食べてみてください。</p> <p>田名部： 以上「すいたのトピックス」でした。</p> <p>田村： ということで、エンディングでございます。</p> <p>田名部： もうですか？ 早いですね。</p> <p>田村： あっという間なんですよ、ホンマに。どうでしたか？ スタジオは。</p> <p>田名部： 楽しかったですし、今の吹田を知ることができて、すごく嬉しかったです。</p> |

田村：

そうかそうか。関大に通ってた頃から時を経て。

田名部：

今日はスパイシー八木さん出ておられなかったですね。

田村：

あ、ホンマですね。ノンスパイシーでしたね、今日は。
なんか交流があるようで。

田名部：

同じ事務所なんですよ。私もどちらかという珍味好きで。

田村：

あはははは。やめてください。スパイシーさんを珍味としてカウントするの
やめてください。ずっと言ってますけどスパイシーさんはロケが丁度良いです。

田名部：

そうなんだ。

田村：

だからスタジオはもういいんです。
でも、たぶんですけど、ここのスタッフさんも珍味好きが多いから、
たぶん何回かしたら座りに来るんですよ。

田名部：

珍味磨いときます。

田村：

ぜひともまた遊びに来てください。

田名部：

ありがとうございます。

田村：

次回は誰がこの席に座るのか僕も知りません。そこも注目してください。
それではまた次回お会いしましょう。さようなら～。